

平成28年度事業報告書

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

事業の概要

1. 奨学給付費 計 69,720,000 円

(奨学金の給与の内訳)

(1) 大学生51人に対し、月額5万円の奨学金を支給した。

※内2名10月より休学のため6ヶ月の支給

(49人 × 5万円 × 12ヶ月 = 29,400,000円)

(2名 × 5万円 × 6か月 = 600,000円)

(2) 大学院生24人に対し、月額6万円の奨学金を支給した。

※内1名9月まで休学のため6か月の支給

(23人 × 6万円 × 12ヶ月 = 16,560,000円)

(1人 × 6万円 × 6ヶ月 = 360,000円)

(3) 外国人留学生20人に対し、月額10万円の奨学金を支給した。

※内2名9月で退団(卒業)のため半年間の支給

(18人 × 10万円 × 12ヶ月 = 21,600,000円)

(2人 × 10万円 × 6ヶ月 = 1,200,000円)

2. 奨学生補導費 計 6,355,810 円

(1) 7月に奨学生を大阪に集め認定式を行った。奨学生が一堂に会することにより、お互いに意識を高め交流を深めた。役員も参列し奨学生を激励した。

(2) 9月に、新たに海外大学に通う学生等に奨学金の支給を開始することに伴い、実際に下記現地大学4校を訪問し、現地大学の状況調査や、当財団の奨学金制度の趣旨説明を行った。

① 米国 Michigan State University

② 米国 Clemson University

③ オランダ Eindhoven University

④ ドイツ Stuttgart Media University

(3) 10月に奨学生を東京に集め、国際包装展「東京パック2016」の見学会を実施し、最新のパッケージに関する見識を広めた。

見学会終了後に研修会を行い見学内容について情報を共有化した。

(4) 12月に就職活動を迎える学年の希望者を募り、就職セミナーを開催した。就職活動への取り組み方についてアドバイスを行い、奨学生の就職活動に対する不安の解消をはかった。

3. 事業運営費 計 6,995,717 円

奨学金給付事業のための運営費

合計 83,071,527 円